

## AEDとは

AED (Automated External Defibrillator: 自動体外式除細動器) とは、心臓の状態を判断し、必要なときに心臓に電気ショックを与えて心臓の動きをより正常に近い状態に戻す医療機器のことです。

電源を入れると音声ガイドで操作手順・処置方法が指示され、医学的な知識のない人でも適切に操作をすることができるようになっています。

最近、駅や商業ビル、公共施設などの街中でAEDをみかけることも多くなりました。日本では2004年7月からAEDの使用を医療従事者以外の一般市民も行えるようになり、設置場所が増え急速に普及しているものの、まだまだ実施率は低い状態です。

総務省消防庁 平成26年版救急救助の現況によると、心停止で倒れるのが目撃された人のうち、実際にAEDが使われたのは**3.6%**ととても低い数字となっています。心停止に対して除細動が1分遅れることによって、生存率は10%ずつ減っていくといわれており、救急車の到着前にバイスタンダー（居合わせた人）による人工呼吸、心臓マッサージに加え、早期のAEDの利用により生存率を改善することができるのです。

救える命を救うために、そそいざという時に私たち自身が正しく使えるようにしておくことが大切です。

そのために、普段から自宅や会社、よく行く場所でAEDの設置場所を覚えておくといでしょう。人で混雑している場所などに行く際も、AEDの設置有無、またどこに配置されているかも確認しておくといざという時に安心です。

また、東京消防庁では、心肺蘇生やAEDの使い方、けがの手当など、応急手当を習得しできるように、事業所等も対象としている救命講習を開催しています。一人ひとりの勇気や心がけが、人の命を救うことにつながります。決して他人事とは思わず、いざという時のために、備えましょう。



多摩東部地域産業保健センター

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-38-4 三鷹産業プラザ 404

TEL 0422-24-6906 FAX 0422-24-6908

HP <http://www.sanpo-tama.jp/> メールアドレス [sanpo@kind.ocn.ne.jp](mailto:sanpo@kind.ocn.ne.jp)